

大府
かわら版

バスをもっと便利にの請願

市議会・委員会が“見解違う、と否決

市民の声は…

病院へ行っても、帰りのバスがない。

買い物しても時間が合わずに、結局帰りは使えない。待つところもなく、長い時間お店の中をウロウロするわけにもいかない。便数増やして欲しい！

利用しにくい。乗るのに手押し車をたためず邪魔になるし、乗って行った先で帰りの（適当な時間の）バスがなかったり、本数が少ないので乗り継ぎもできない。



②ふれあいバスを補完する公共交通を検討してください

①ふれあいバスと停留所を増やしてください

市民の要求を込めた請願内容は、次の3項目です。

続く今年3月議会でも「継続審

4カ月かけて
結局は反対・否決

「市民の足」として活躍する大府市の「ふれあいバス」。でも現状はまだまだ使いにくい。もっと利用しやすいバスにしてほしいと、多くの声が上がっています（左欄）。そこで市民の皆さんが署名を集め市議会へ請願を提出しました。それが「ふれあいバスの乗車と停留所の増設を求める請願」。昨・2024年の11月26日のことです。日本共産党の久永かずえ議員がただ一人、紹介議員となりました。

請願を受けた昨年12月議会は、本会議と建設産業委員会で議論。「市がバス増便を『やる』と言いつの」に上書きのように（請願するのは、あたかもパフオーマンスとか人気取り…」などの「危惧」を述べ立てる議員もいる中「より慎重な審議が必要」として採択を先に延ばし「継続審議」とされてきました。

採択を先延ばし
継続審議くり返す

③名鉄南加木屋駅への乗り入れを実現してください

市民が「利便性を求める」ことに
“見解の違い” って何でしょう？

議に。4カ月間も「審議中」のすえ、議会閉会後の3月24日⑤に建設消防委員会を開会。請願紹介議員の久永議員に出席を求め「継続審議」としながら久永議員への質問もなまま採決へ。同委員の時安利栄議員（親和クラブ）が「公共交通の利便性を求めることについて見解の相違があるため」と反対理由を述べ同委員会として請願を否決。出席の全委員が市民の請願に反対しました。

市民に寄り添う
議員の姿勢が
問われています

「もっと使いやすいバスに」と「利便性を求める」市民の声。それが同委員会委員には伝わりませんでした。4カ月も「継続審議」の末「見解が違う」として反対されたことは、残念です。

請願否決を決めた3月の市議会建設消防委員会の結果は、5月予定の臨時市議会に報告されて全議員の賛成・反対の態度が問われます。市民の命をつなぐ「バスの便数とバス停を増やしてほしい」という切実な思いが届く議会であることを強く願います。



訂正とお詫び

前号（4月13日付）No.1427で「手術支援ロボット」の記事中「一台で3億千万円という…導入費」とあるのは「3億5千万円の導入費補助」の誤記でした。訂正してお詫びいたします。

「バス請願」について詳しくは、下記のQRコードから、当該の「かわら版」記事をご参照下さい。



No.1414

2024 年
12 月 1 日付

No.1416

2024 年
12 月 22 日付

No.1418

2025 年
1 月 12 日付

相談はお気軽に
声かけください

生活相談

日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

5月20日(水)午後6時～

無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話